

ケース 5.1 ギリシャの合法化措置

スペイン、ポルトガル、イタリアと同じように、ギリシャも何回にもわたり大量の不法滞在者の合法化措置を行っている。他の国も似たようなプログラムを採用すべきなのか。

1991年にギリシャは規制を強化した移民政策を導入したにもかかわらず、賄賂漬けのギリシャ政府という問題もあり、移民の流入が続いている (Fakiolas, 2002: 283)。2001年と2002年間の主要な移民の形態は不正なヴィザで入国するというものであった。不正なヴィザは主にアルバニアの首都ティラナのギリシャ領事館で作成されたものである (Baldwain-Edwards, 2004: 52)。ギリシャは旧ソ連諸国からのポントス系ギリシャ人の帰還を歓迎し、1989年から1999年にかけては15万人を受け入れている。アルバニアから帰国するギリシャ系住民に対しては帰還を促進するための特別の手続きを定めている。しかし、合法的に在外ギリシャ領事館が発行したギリシャ系住民であることを証明する証明書が多くは、不正に取得されたものであることが判明している (Fakiolas, 2002: 285-286)。

他方で、アルバニア系ムスリム移民たちはひどい扱いを受けている。1990年以後ギリシャから240万人ほどの移民が強制退去させられているが、その80%はアルバニア人であった (Fakiolas, 2002: 290)。強制退去や送還などの件数が異常なほど多いのは、外国人の不法就労を規制する法律の執行手続きが未整備であったことや、1998年まで合法化措置のための法律がなかったことを原因とした、ギリシャ政府の入出国管理能力の弱体さのためである。ギリシャの労働組合はようやく合法化措置法の成立にこぎつけることができたが、その執行は行政能力が追い付かず成果は不十分であった (Papantoniou-Frangouli and Leventi, 2000)。37万人の外国人不法就労者が申請したが、他の多くの不法就労者たちは申請のための手続きを知らずに申請できなかったか、あるいは強制送還されるかもしれないとの不安から申請を留まった者が多い。こうしたことから、アルバニア人の多くが申請しなかったことは間違いない。付け加えると、多くのアルバニア人にとって社会保障給付対象となる仕事をみつけることが難しいのと、かつ合法化された労働者の雇用を所轄官庁に雇用主が届けると、労働者は社会保障費や所得税を支払う必要がでてくるので、合法化の申請を避けようとしたのである (Papantoniou-Frangouli and Leventi, 2002: 955)。しかし、この合法化措置の実施により非ギリシャ人で非EU域内出身者の移民人口は14%近く増加していったのである (Fakiolas, 2002: 292)。

2001年に新たな合法化措置が実施された。その結果22万8,000人分の滞在許可証が発行された。しかしギリシャの合法化措置には批判も強い。それは、次のように要約できる。「ギリシャの正規化によって生まれた事態に対する批判はさまざまである。多くの批判に共通にみられるものは、そもそも合法化措置の手続きが煩瑣であるということである。合法化に必要な政府の手持ちの資料が不十分であり、しかも錯綜している。政府はもともと監視能力が不十分なうえに、合法化手続き全体を見通して管理するための戦略がない。あ

ケース 5.1 ギリシャの合法化措置

るいは移民の統合に対する方針も定まっていない、というものである」(Levinson, 2005b: 4)。こうした批判にもかかわらず、政府は 2006 年に新たな合法化措置を計画したのである(OECD, 2006)。

合法化措置は、数百万に及ぶ移民たちの合法化を可能とするが、それは不法移民を生じさせる根本的な条件を修正するわけではないので、合法化がさらに必要となる。南ヨーロッパ諸国のさまざまな合法化措置は、合法化された移民労働者の社会的・経済的流動性を制限する一種の事実上の短期滞在外国人労働者制度となっている。結果的には、合法化された移民労働者の多くは不法就労者になってしまうのである。にもかかわらず、南ヨーロッパの合法化措置を模倣すべきものとして高く評価し、2006 年のアメリカで地道に働く不法就労者の合法化を実現すべきだとする者もいる。しかし、もしその措置が実施されていたとしたら、6 年間の合法的短期滞在労働者の地位を不法就労者に与えるだけのものになったに違いない。

【参考文献】

- Baldwin-Edwards, M. (2004) 'Albanian emigration and the Greek labour markets: Economic symbiosis and social ambiguity'. *Southeast Europe Review*, 1:1.
- Fakiolas, R. (2002) "Greek migration and foreign immigration in Greece", in R. Rotte and P. Stain (eds.), *Migration Policy and the Economy: International Experiences* (Munich: Hans Seidel Stiftung).
- Levinson, A. (2005b) *Regularisation Programmes in Greece* (Oxford: COMPAS, Oxford University).
- OECD (2006) *International Migration Outlook* (Paris: OECD).
- Papantponiou-Frangouli, M. and Leventi, K. (2000) 'The legalization of aliens in Greece', *International Migration Review*, 34:3.